

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年2月22日(2024.2.22)

【公開番号】特開2022-163368(P2022-163368A)

【公開日】令和4年10月26日(2022.10.26)

【年通号数】公開公報(特許)2022-197

【出願番号】特願2021-68244(P2021-68244)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

A 63 F 7/02 304 D

【手続補正書】

【提出日】令和6年2月13日(2024.2.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

特定識別情報の可変表示を実行し、該特定識別情報の可変表示の結果として特定表示結果が導出されることで遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、遊技制御手段と、

演出制御手段と、

表示手段と、を備え、

前記遊技制御手段は、

始動領域に遊技媒体が進入したに基づいて、前記有利状態に制御されるか否かを判定可能であり、

前記特定識別情報の可変表示を実行可能であり、

保留記憶数が2である場合に前記判定の結果に基づいて、前記有利状態に制御される変動パターンである第1変動パターンと、前記有利状態に制御されない変動パターンである第2変動パターンと、を含む複数の変動パターンのうちからいずれかの変動パターンを決定可能であり、

前記第1変動パターンを決定したときに、前記演出制御手段に第1コマンドを送信可能であり、

前記第2変動パターンを決定したときに、前記演出制御手段に第2コマンドを送信可能であり、

前記演出制御手段は、

前記第1コマンドを受信したときに、特定リーチで前記有利状態に制御されることを報知することが可能であり、

前記第2コマンドを受信したときに、前記特定リーチで前記有利状態に制御されないことを報知することが可能であり、

前記表示手段は、

前記有利状態に制御される旨が報知された後に、制御される該有利状態に対応する有利状態名称表示を表示可能であり、

前記有利状態名称表示を第1方向に移動させながら定位位置に表示し、

前記特定リーチに対応するタイトル表示を前記第1方向とは異なる第2方向に移動さ

50

せながら定位置に表示する、遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

請求項1の遊技機は、

特定識別情報の可変表示を実行し、該特定識別情報の可変表示の結果として特定表示結果が導出されることで遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

10

遊技制御手段と、

演出制御手段と、

表示手段と、を備え、

前記遊技制御手段は、

始動領域に遊技媒体が進入したことに基づいて、前記有利状態に制御されるか否かを判定可能であり、

前記特定識別情報の可変表示を実行可能であり、

保留記憶数が2である場合に前記判定の結果に基づいて、前記有利状態に制御される変動パターンである第1変動パターンと、前記有利状態に制御されない変動パターンである第2変動パターンと、を含む複数の変動パターンのうちからいずれかの変動パターンを決定可能であり、

20

前記第1変動パターンを決定したときに、前記演出制御手段に第1コマンドを送信可能であり、

前記第2変動パターンを決定したときに、前記演出制御手段に第2コマンドを送信可能であり、

前記演出制御手段は、

前記第1コマンドを受信したときに、特定リーチで前記有利状態に制御されることを報知することが可能であり、

前記第2コマンドを受信したときに、前記特定リーチで前記有利状態に制御されないことを報知することが可能であり、

30

前記表示手段は、

前記有利状態に制御される旨が報知された後に、制御される該有利状態に対応する有利状態名称表示を表示可能であり、

前記有利状態名称表示を第1方向に移動させながら定位置に表示し、

前記特定リーチに対応するタイトル表示を前記第1方向とは異なる第2方向に移動させながら定位置に表示する(図11-41、図11-42、図11-64、図11-67)、

ことを特徴としている。

40

40

50